

富田林市行財政経営改革ビジョン(素案)【概要版】

●行財政経営改革って?●

人口減少や少子高齢化の進行等を背景に、税収の減少や社会保障関連費用の増大等により、今後も厳しい財政状況が続くと予想されています。そのような環境の中、より経営的な視点に立った行財政運営や、市民生活の充実と向上を図っていくことが求められています。

これまで本市では、平成17年度より3期15年にわたり全庁を挙げて行財政改革に取り組み、着実に成果をあげてきました。今後は、限られた資源の中で施策の選択と集中を行い、市民サービスの向上のための取組について最大の成果が得られる体系へと行政経営の仕組みを再構築しなければなりません。

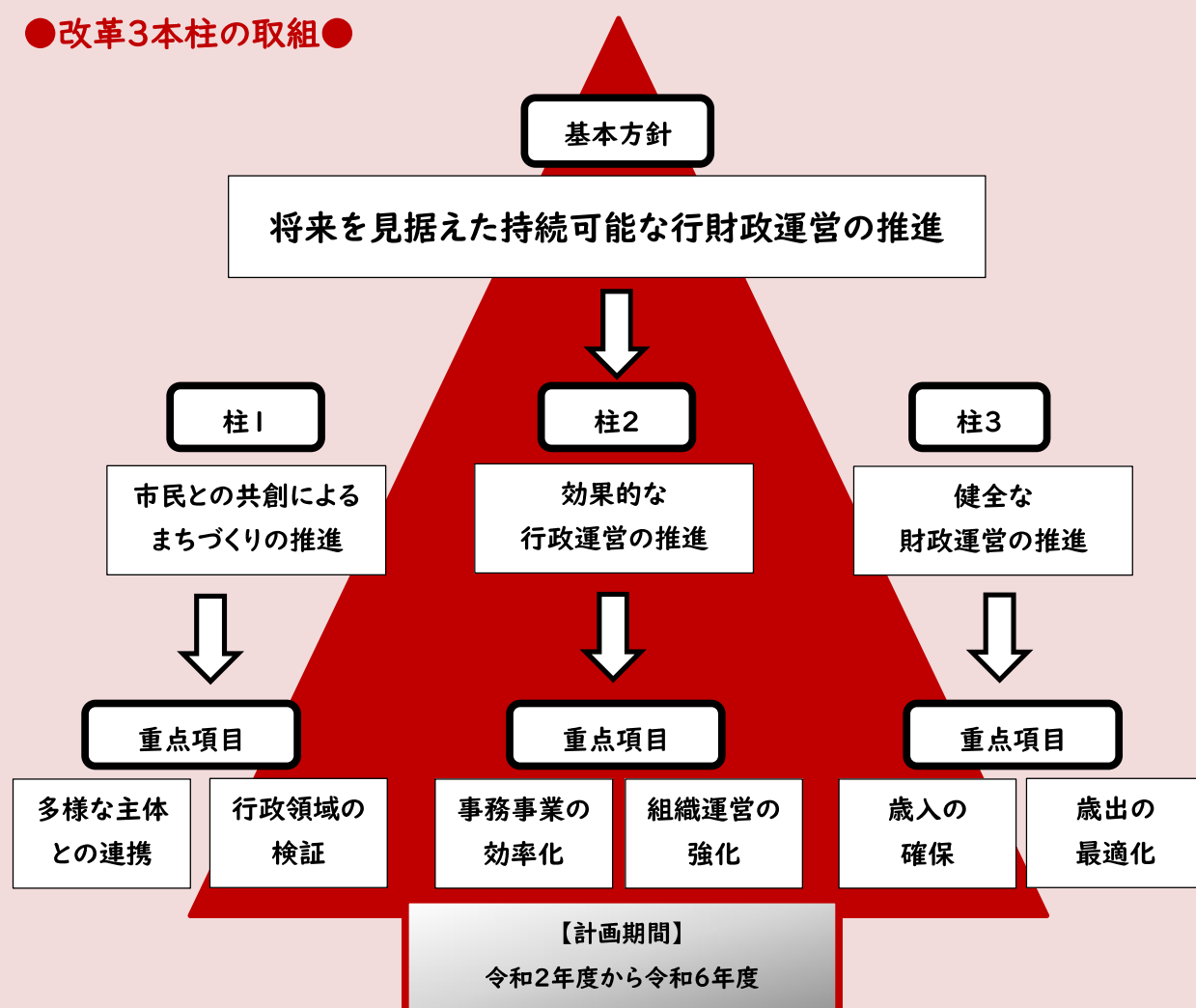
以上のように、厳しい財政状況の中でも、公共主体の仕組みから行政が市民や事業者等と力を合わせ、新しい「公共私」相互間の協力関係を構築し、総合ビジョンの基本施策である「主体的な市民参加と協働によるまちづくり」を実現するための「共創によるまちづくり」への転換に取り組むとともに、経営的な視点にたった行財政運営を推進することが必要です。

●めざすべき姿●

行政がサービス提供の担い手のための共創の場を創出し、多くの市民や事業者等による多様な主体間のネットワークが広がり、行政とともに地域の課題解決を進めています。

一方、行政においては、財政状況の見える化が進み、透明性の高い、効率的・効果的な行財政運営が行われることで、市民のニーズに応えることができる質の高い行政サービスが持続的に提供されています。

●改革3本柱の取組●



●富田林市行財政経営改革ビジョン 体系図●

基本方針

『将来を見据えた持続可能な行財政運営の推進』

基本方針に基づく取組行動計画



●行財政経営改革をすすめるための取組体系と財政効果額●

取 組 項 目			目標効果額（千円）					
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
柱Ⅰ まちづくりの共創による 推進	(Ⅰ) 多様な主体との連携	① 市民参加型社会の推進	0	0	0	0	0	0
		② 多様な担い手の育成	109	109	109	109	109	545
		③ 共生型地域づくりの推進	0	0	0	0	0	0
		④ 多様な市政情報の発信と広聴の充実	0	0	0	0	0	0
	(Ⅱ) 領域の検証	① 公民連携の推進	0	0	0	0	0	0
		② 民間活力の導入	0	0	66,648	66,980	67,269	200,897
柱Ⅱ 効果的な行政運営の推進	(Ⅰ) 事務事業の効率化	① 事業の選択と集中	0	0	5,052	5,323	5,594	15,969
		② 事務執行の整理・合理化	993	3,952	3,952	7,491	41,360	57,748
		③ ICT技術の積極的な活用	0	350	350	350	350	1,400
	(Ⅱ) 組織運営の強化	① 人材育成・働き方改革の推進	0	0	0	0	0	0
		② 組織体制の最適化	1,000	2,000	3,000	75,714	76,714	158,428
		③ 広域連携の推進	0	0	0	0	0	0
柱Ⅲ 健全な財政運営の推進	(Ⅰ) 歳入の確保	① 受益者負担の適正化	0	0	0	0	0	0
		② さらなる収入増加策	112,681	109,925	115,785	100,853	101,090	540,334
	(Ⅱ) 歳出の最適化	① 行政経費等の見直し	71,667	107,337	87,337	116,939	116,939	500,219
		② 財務マネジメント機能の向上	0	0	0	0	0	0
		③ ファシリティマネジメントの推進	0	0	0	0	0	0
	合計		186,450	223,673	282,233	373,759	409,425	1,475,540

【発行】令和2年〇月

富田林市 総務部 行政管理課